

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Dプロジェクト京田辺新築工事	階数	地上2F
建設地	京都府京田辺市甘南備台三丁目2番	構造	S造
用途地域	工業地域、指定なし	平均居住人員	40人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年10月 0.0	評価の実施日	2012年2月21日
敷地面積	26,595 m ²	作成者	伊藤正澄
建築面積	5,726 m ²	確認日	2012年2月21日
延床面積	11,274 m ²	確認者	伊藤正澄

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	91%
③上記+②以外の	91%
④上記+	91%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.6**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 2.8**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 3.2**

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 2.1**

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.2**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 3.6**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 3.2**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 2.7**

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
設備機器のメンテナンス及び更新に配慮した計画とした		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・化学汚染物質の使用を低減した	・事務所の天井高さを2.7m確保し十分な窓を確保した。 ・設備機器は外部に設け、メンテナンスルートを確認し、マシンハッチを設置した。	・既存の山林を保存した計画とした。
・十分なリフレッシュスペース(休憩室)及び喫煙室を		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率照明器及びLED照明器具を採用した。	・舗装材に再生アスファルト材料を使用した。 ・-30℃の冷凍庫の冷凍機の冷媒には自然冷媒を使用した。	・冷凍車が停車中にアイドリングを行わない様に冷凍車用の電源を各パースに設置した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される